

魅力づくり活動日記

「地域活性化起業人」 松井 彩さん

■問合せ ふるさと定住課 ☎72-6955

自治体と企業が協働する那須町を目指して

とともに、これらを活用して既に地域で実証実験や実装が行われている事例も多くあり、決して本町も他人事ではないと感じました。

企業が地域に関わっていくには、しっかりとビジネスとして地域経済を回していくことが重要であり、その動きが長期的な地域の活性化につながるのだと考えています。

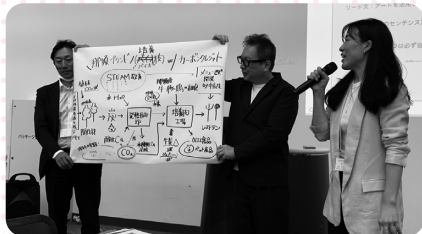
その点で、都心からのアクセスや豊かな観光資源、エリア単位での人口ボリューム等、本町には十分な商圏があり、ビジネスチャンスが多く潜む町だと思います。

このようなワークショップに町職員も積極的に参加し、自治体側からも企業の挑戦を後押しすることで、町全体が活気づいていく流れを作っていく予定です。

▼ナスコンバレー協議会ホームページ (https://nasucon.jp)

先日、町職員の方々と共に、ナスコンバレー協議会主催のワークショップに参加しました。同協議会では、那須地域と首都圏の企業からの参加者を中心に、定期的に本町でイベントを開催しており、今回は企業数42社、70名以上の方が集いました。

地域課題と企業の技術や知見を掛け合わせ、新たな事業を創出するワークショップが行われ、本町について真剣に考え向き合っていたきました。ワークショップを通して、想像もできないような新たなテクノロジーが次々に生まれていることに驚く



廃校を舞台にカーボンクレジットを活用して、那須ブランド培養肉の作るプロジェクト案を発表

那須文芸

俳句 (2023年6月号)

短歌

過疎村を奮い起こして鯉のぼり
過疎村に若き移住者初幟
はしやぎ声稚魚放流の夏来たる

あるがまま吹かれてみたし鯉のぼり

信州の母の手揉みの新茶かな

人も木も深呼吸する五月晴

保護色に声たけ頻り雨蛙

塵芥一掃したる梅雨晴間

那須岳の稜線ひかる五月晴

髪染めて一歩踏み出す梅雨の晴

遠近に雲を散らして梅雨晴間

那須街道揺らしてゐたる四葩かな

鮎竿を巧みに捌く大公望

単線の窓に野州の麦熟るる

少年と見えしは少女柿若葉

過疎村の大空自由揚雲雀

山独活や田舎恋ひしくなる齡

風に乗り雲雀鳴くのは誰のため

高雲り空にひびくや雲雀笛

亡き父母の齡を越えて夫とわれ

老ゆる寂しさ今にして知る

大谷村に百万本の菜の花と

500匹なる鯉のぼり泳ぐ

初夏の日々枯木の命蘇り

街道包む新緑の樹々

鮎瀬 汀

松浦 秀文

中島 慶子

鈴木 光典

鈴木 文代

五月女加代子

須藤 さよ子

渡辺 愛子

益子 美都里

杉浦 公子

松本 和子

佐藤 登

高久 巻江

長島 啓子

平岡 丈子

岡部 慶子

仲川 光風

三瓶 真弘

新倉 けい子

守屋 はるみ

中島 君江

田中 恵美子

田中 恵美子

田中 恵美子

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 6月20日(火)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166

田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

企画政策課広報広聴係 ☎72-6935

表紙の話

地震に備える!身の回りの危険な場所を把握しよう
(防災教室 田代友愛小学校)

5月17日、防災を学ぶ授業が、田代友愛小学校で全学年を対象に行われました。3年生のクラスでは、学校内にある地震発生時に危険となる場所を探しました。ある児童は、理科室にガラス等の容器が入る棚やガスコンロがあることを発見し、一生懸命にメモを取り、教室に戻ってみんなと共有しました。

映像やカードを使うなど、思考を凝らした授業が各クラスで行われ、防災についての意識を高めました。